

5月9日（月）自分のよさをみつけよう

全校遠足は楽しく過ごせてよかったですね。どの子も兄弟学級の友達と楽しく活動している様子をたくさん見ることができ、校長先生はたいへんうれしく思いました。学校は勉強をするところです。机や黒板に向かって勉強をすることも大切ですが、いろいろな人とかわかって活動していくことも皆さんの成長にとってはとても大切なことです。ぜひ、これからも兄弟学級の友達とたくさんかわかって、仲良く学校生活を送ってもらいたいと思っています。

さて、今日は皆さんに一つ質問をします。それは「あなたのいいところはどこですか？」という質問です。すぐに自分のよさが分かって、3つは言えるよという人は静かに手を挙げてみてください。

なるほど、やはり学年が上がるに従って手が挙がらなくなりますね。これは仕方のないことです。年齢が上がるに従って、自分のことをしっかりと見つめられるようになるからです。また、周りの人の目を気にすることが多くなるからだと思います。だからといって決して低学年の人がいい加減なことを言っているわけではありませんから安心してください。

「どんな人にもよさがある。」というのが校長先生の考えです。ただし、そのよさに自分が気付いているかどうかは分かりません。

例えば、

- ・ 友達にいつもやさしく出来ること。
- ・ うそをつかずに正直なこと。 ・ あいさつが元気にできること。
- ・ 掃除が上手にできること。
- ・ 計算が得意なこと。
- ・ 足が速いこと。 ・ 鉄棒が得意なこと。 ・ 好き嫌いなく食べること。
- ・ 誰にでも公平に接することができること。
- ・ 本をよく読むこと。 ・ 家の人の手伝いを進んでできること。
- ・ いつも明るく笑顔でいられること。



挙げていけばきりがなくくらいに「よさ」があります。自分ではそのよさに気付いていない人が周りにもいるかもしれません。そこで、友達同士でよさを見つけ合うという方法を覚えておいてください。口に出して言うのは恥ずかしいという人もいるかもしれませんが、よさを言われて嫌な気持ちになる人はいないと思います。ぜひ、多くの人によさを伝えてあげてください。

そしてよさが見つかったら、今度はそのよさをさらに伸ばしていきましょう。また、そのよさはぜひ、友達やクラス、学校、家庭、地域の皆さんのために役立てていけるように努力してみましょう。すると、きっとそこには自分を大切にする「あなた」が見つかると思います。自分を大切に出来る人は友達や周りの人たちも大切にできる人です。校長先生も自分のよさを皆さんのために活かしていけるよう努力をしていきます。